

令和2年度 アレルギー疾患都道府県拠点病院 モデル事業報告

独立行政法人国立病院機構福岡病院



1. 診療（アレルギー疾患患者や家族等に対する相談対応）

福岡県アレルギー相談センター（新規）

開設日	受付方法	回答方法	回答者
令和2年7月1日	<ul style="list-style-type: none">電話（週2回）FAX（随時）Mail（随時）	<ul style="list-style-type: none">電話受付後1週間以内	<ul style="list-style-type: none">アレルギー専門医PAE（看護師）

相談内容内訳（令和2年7月～令和3年3月）

月	受付			疾患						計
	電話	FAX	Mail	食物アレルギー	気管支喘息	アトピー性皮膚炎	蕁麻疹	アレルギー性鼻炎	その他	
7月	8	1	4	4	2	1	2	1	3	13
8月	6	1	2	4	0	1	0	0	4	9
9月	4	1	2	3	0	0	1	0	3	7
10月	16	0	4	9	4	2	1	0	4	20
11月	19	3	4	6	1	1	1	1	16	26
12月	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2
1月	5	0	0	3	0	0	0	0	2	5
2月	6	1	3	4	1	0	0	0	5	10
3月	7	0	2	3	0	0	0	1	5	9
計	71	8	22	38	8	5	5	3	42	101

2. 人材育成（アレルギー講習会（医療従事者対象））

受講対象者	概要	
<p>アレルギー疾患診療・療養指導に従事する医療従事者 市区町村担当者 保健指導従事者</p> <p>職種：医師、薬剤師、看護師、助産師、栄養士、保健師 登録者数：724名</p>	<p>e-Learning形式、全6回 ※ 第1～3回：令和2年12月に開催 第4～6回：令和3年1月・2月に開催 総集編：令和3年3月（2日間）に開催</p> <p>取得可能単位 日本アレルギー学会 日本医師会生涯教育</p>	
講師	内容（テーマ）	
<p>アレルギー専門医 PAE（看護師・薬剤師・管理栄養士）</p>	<p>食物アレルギー 気管支喘息 アトピー性皮膚炎</p>	<p>アレルギー性鼻炎 アレルギー性結膜炎 蕁麻疹</p>

※ 第1回・第3回は、アレルギー疾患の過去から現在への変化をテーマに、経験豊かな講師が対談形式で講演



3. アレルギー疾患に対する情報提供

市民公開講座 「呼吸器アレルギー教室」(変更)

市民公開講座の会場開催を中止 (COVID-19)

フリーペーパーを作成 (全16ページ)

福岡県庁及び福岡県内市区町村役所に配布

福岡病院アレルギーセンター ホームページ (新規)

アレルギー疾患に関する情報

スキンケア方法の解説

花粉情報



4. アレルギー疾患に係る診断等支援 (学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対策への助言)

	保健所とのネットワーク形成	エピペン講習
従前の取り組み	乳児検診時に保健所に訪問して、 対面でアレルギー相談を実施	希望する学校等に訪問して、 対面講習会を開催
今年度の取り組み	動画DVD（次スライド参照）作成して、保健所に配布	対象患者を小学生とした動画を作成して、学校にDVD配布
	アトピー性皮膚炎・スキンケア 自宅でのケア方法 等 食物アレルギー 離乳食の開始、食事の進め方 等 病院受診の適切なタイミング ※ 受診者（保護者）にもわかりやすい内容	e-Learningを計画中

食物アレルギーの症状

荨麻疹のような症状からアナフィラキシーのような命にかかわる症状まで様々であり、即時型と非即時型がある。

食物アレルギーの症状
食物アレルギーでは、以下のような症状の発現が観察されます。

1. 皮膚の症状 かゆみ、じんましん、発赤、腫脹	5. 呼吸器症状 息が苦しい、咳、ゼーゼー音、のどがつかまった感じ、声がかすむ
2. 口の症状 唇舌のむくみ、かゆみ、赤み、舌のびり	6. 消化器症状 嘔吐、吐きけ、嘔血、下痢、血便
3. 口の・のどの症状 口の内の腫れ、喉ののどがつかまい、のどがつかまい、声がかすむ	7. 循環器症状 顔色、蒼白、低下、手足が冷たい、脈拍
4. 目の症状 かゆみ、赤み、涙が出る	8. 神経症状 頭痛、気配がない、めまい、意識障害、不眠
	9. アナフィラキシー

症状の現れ方や程度人で違います。過去きた症状を共有してと、症状が現れたと対応を判断する目安になります。

アナフィラキシーが起きたら！

アレルギーです、**00番**にまでください。

第一発見者の対応

- ・ 傍を離れない
- ・ **緊急性の判断(5分以内)**
- ・ 症状の対応
- ・ 人を集める
(大きな声で、確実に集める)

緊急性(エピペンが必要か必要でないか)を判断するまで、動かさない

エピペン講習会

—アナフィラキシーの対応を含めて—

国立病院機構福岡病院
金子恵美
2020. 11

4.アレルギー疾患に係る診断等支援（保健所への診療支援）

目的	医療機関への受診のタイミングを検討できるようにする
支援方法	COVID-19の影響で直接の支援は困難なため、保健所での集団検診時に視聴できる動画（DVD）作成
動画内容	食物アレルギー 「乳児期と食物アレルギーとの関わり」 「食物アレルギーについて」 「離乳食の進め方」 「食物アレルギーと上手に付き合うために」 アトピー性皮膚炎 「スキンケアの方法について」 「アトピー性皮膚炎について」

5. 研究

研究内容	対象者
アレルギー疾患罹患に関するアンケート調査	福岡病院職員
成人のアレルギー疾患罹患状況調査	九州管内 国立病院機構 検査技師
アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究 (令和2年度厚生労働省行政推進調査事業)	福岡病院職員 及びその家族